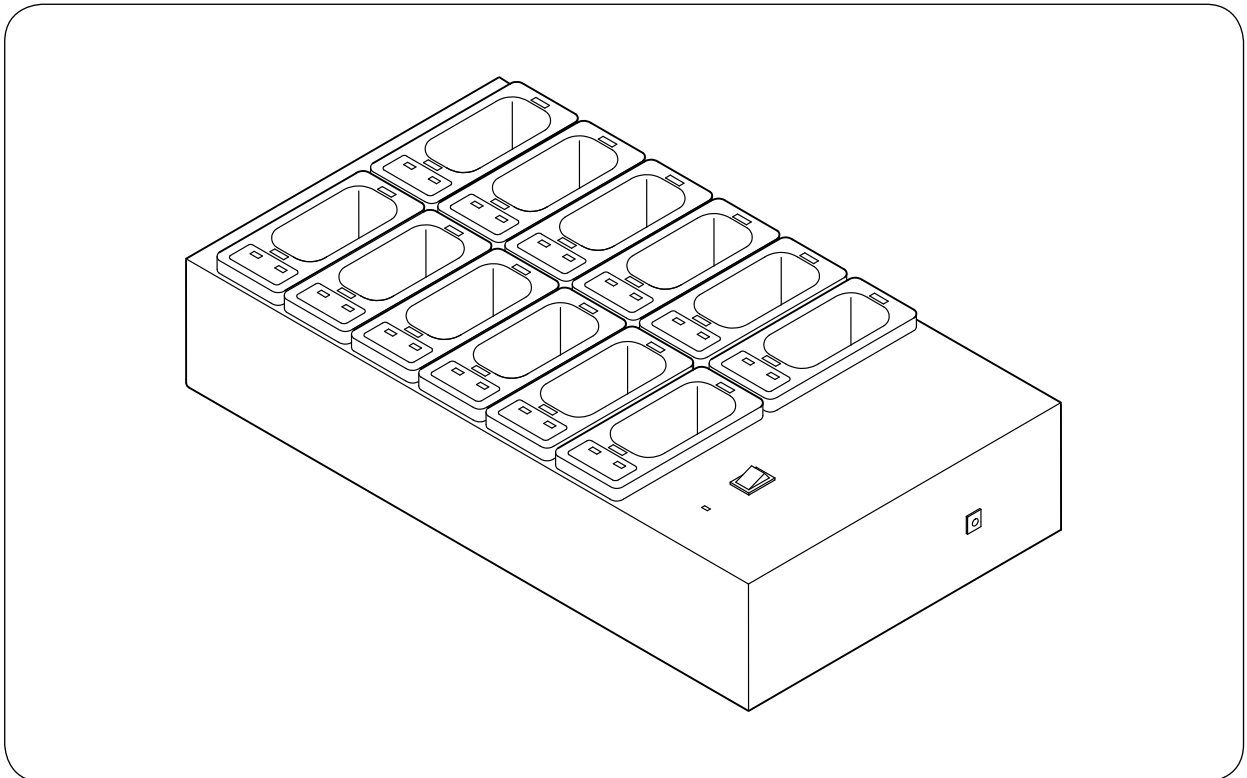


充電器

BC-1100A-12



このたびは、TOA 充電器をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

正しくご使用いただくために、必ずこの取扱説明書をお読みにになり、末長くご愛用くださいますようお願い申し上げます。

目 次

安全上のご注意	3
充電器 BC-1100A-12 本体に適用	3
付属の充電電池 WB-2000 に適用	5
概 要	7
特 長	7
使用上のご注意	7
適合機器および適合電池	7
各部の名称とはたらき	8
充電のしかた	8
故障かな？と思ったら	10
仕 様	10
専用充電電池 WB-2000 について	11
ニッケル水素電池のリサイクルについて	11
使用上のご注意	11
仕 様	11

安全上のご注意

- ご使用前に、この欄を必ずお読みになり正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- お読みになったあとは、いつでも見られる所に必ず保管してください。

表示について

ここでは、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

図記号について

行為を禁止する記号			行為を強制する記号	
				
分解禁止	禁止	接触禁止	強制	電源プラグを抜く

■ 充電器 BC-1100A-12 本体に適用



警告

誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

設置・据付をするとき

水にぬらさない

本機に水が入ったりしないよう、また、ぬらさないようご注意ください。
火災・感電の原因となります。



禁止

指定外の電源電圧で使用しない

表示された電源電圧を超えた電圧で使用しないでください。
火災・感電の原因となります。



禁止

電源コードを傷つけない

電源コードを傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたりしないでください。
また、コードの上に重いものをのせないでください。
火災・感電の原因となります。



禁止

不安定な場所に置かない

ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。
落ちたり、倒れたりして、けがの原因となります。



禁止

使用するとき

万一、異常が起きたら

次の場合、電源スイッチを切り、電源プラグを抜いて販売店にご連絡ください。
そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

- 煙が出ている、変なにおいがするとき
- 内部に水や異物が入ったとき
- 落したり、ケースを破損したとき
- 電源コードが傷んだとき（心線の露出、断線など）



電源プラグを抜く



警告

誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

使用するとき

内部を開けない、改造しない

内部には電圧の高い部分があり、ケースを開けたり、改造したりすると、火災・感電の原因となります。
内部の点検・調整・修理は販売店にご依頼ください。



分解禁止

液体の入った容器や小さな金属物を上に置かない

こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となります。



禁止

内部または機器差し込み口に異物を入れない

内部または機器差し込み口に金属類や燃えやすいものなど、異物を差し込んだり、落とし込んだりしないでください。
火災・感電の原因となります。



禁止

雷が鳴ったらさわらない

雷が鳴り出したら、電源プラグにはさわらないでください。
感電の原因となります。



接触禁止

専用充電電池以外は使用しない

指定以外の充電電池を使用すると、電池の液もれ・破裂により、火災・けがの原因となります。



禁止



注意

誤った取り扱いをすると、人が軽傷を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

設置・据付をするとき

ぬれた手で電源プラグをさわらない

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。
感電の原因となることがあります。



禁止

電源コードを引っ張らない

電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。
コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。
必ずプラグを持って抜いてください。



禁止

移動させるときは電源プラグを抜く

差し込んだまま移動させるとコードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。



電源プラグを抜く

湿気やほこりの多い場所などに置かない

湿気やほこりの多い場所、直射日光のあたる場所や熱器具の近く、油煙や湯気のあたるような場所に置かないでください。
火災・感電の原因となることがあります。



禁止



注意

誤った取り扱いをすると、人が軽傷を負う可能性が想定される内容
および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

使用するとき

ACアダプターは専用品を使用する

専用品以外のものを使用すると、火災の原因となることがあります。



強制

電源プラグやコンセント部の掃除をする

電源プラグを差しあるコンセント部にほこりがたまると、火災の原因となることがあります。定期的にコンセント部の掃除をしてください。
また、電源プラグは根元まで差し込んでください。



強制

お手入れの際、長期間使用しない場合の注意

お手入れのときや長期間本機をご使用にならないときは、安全のため電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
守らないと、感電・火災の原因となることがあります。



電源プラグを抜け

電池の液もれに注意する

2週間以上使用しないときは、充電する機器から電池を取り出しておいてください。
電池から液がもれて、火災・けが・周囲汚損の原因となることがあります。



強制

満充電となった電池を繰り返し充電しない

次のことを必ずお守りください。
守らないと過充電による電池の劣化、液もれにより、けがの原因となることがあります。



禁止

- 短時間の使用で頻繁に充電しないでください。
- 満充電となった電池を繰り返し充電しないでください。

■ 付属の充電電池 WB-2000 に適用



危険

誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。

使用するとき

異常が起きたら使用を中止する

次の場合、機器の使用を中止して電池を取り出し、火気から遠ざけてください。
そのまま使用すると、発火・破裂の原因となります。



強制

- 液もれ、変色、変形、損傷があるとき
- 煙が出ている、変なにおいがするとき

分解、改造をしない

電池を変形・改造したり、直接はんだ付けしたりすると、安全機構や保護装置が損なわれ、発火・破裂・漏液の原因となります。



分解禁止

端子を金属類でショートさせない

プラス（+）とマイナス（-）端子を針金などの金属類でショートさせないでください。また、金属性のネックレスやヘアピンなどと一緒に持ち運んだり、保管したりしないでください。
発火・破裂・漏液・発熱の原因となります。



禁止

危険

誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。

使用するとき

加熱したり、火の中に入れてたりしない

ガス排出弁や安全機構が損なわれ、発火・破裂の原因となります。



禁止

水にぬらさない

水につけたり、端子部分をぬらしたりしないでください。
腐食により、発火・破裂・漏液・発熱の原因となります。



禁止

使用環境温度に注意する

火のそばや炎天下の車中など（60℃以上になるところ）での使用・保管・放置はしないでください。
高温になると、安全機構や保護装置が損なわれ、発火・破裂・漏液・発熱の原因となります。



強制

充電するときは、指定の充電器を使用する

指定以外の充電器を使用すると、発火・破裂・漏液・発熱の原因となります。



強制

指定外の機器に使用しない

異常な電流が流れて、発火・破裂・漏液・発熱の原因となります。



禁止

大きな衝撃を与えない

落としたり、ぶつけたりしないでください。
衝撃により、安全機構や保護装置が損なわれ、発火・破裂・漏液・発熱の原因となります。



禁止

電池内部の液が付いたら、洗い流す

液が目に入ったときは、失明の恐れがあります。きれいな水で洗い流し、ただちに医師にご相談ください。
皮膚・衣服に付いたときは、皮膚に傷害をおこす恐れがあります。きれいな水で洗い流してください。



強制

注意

誤った取り扱いをすると、人が軽傷を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

使用するとき

満充電となった電池を繰り返し充電しない

次のことを必ずお守りください。守らないと、過充電による電池の劣化、液もれにより、けがの原因となることがあります。

- 短時間の使用で頻繁に充電しないでください。
- 満充電となった電池を繰り返し充電しないでください。



禁止

概要

本機は、携帯機、携帯型送信機、および携帯型受信機の専用充電器です。

特長

- 最大 12 台までの機器を同時に充電できます。
- 充電時間の短い急速充電方式を採用しています。
- 本機には、専用充電電池 WB-2000* が 12 本付属しています。
* WB-2000 は単品では販売していません。新たにお買い求めの際は WB-2000-2 (2 本入り) をご注文ください。

使用上のご注意

- 付属の電源コードは、本機専用品です。他の機器には使用しないでください。
- 充電器の周囲温度が 0～40℃ の範囲でご使用ください。
- 充電中は、充電する機器の電源を必ず切ってください。充電完了となっても、満充電にならない場合があります。
- 本機で充電する機器には、必ず専用充電電池 WB-2000 または WB-1000A をご使用ください。それ以外の電池を使用すると、充電できないばかりではなく、充電器や機器の故障の原因となることがあります。
- 振動のあるところには設置しないでください。誤動作する可能性があります。
- 充電しても使用時間が極端に短くなったときに電池の交換時期です。新しい電池と交換してください。

[交換の目安]

使用電池	充放電回数
WB-2000	約 500 回
WB-1000A	約 2000 回

- ケースの汚れは柔らかい布で拭いてください。ベンジン、シンナーなどは使用しないでください。変色したり変形する場合があります。
- ご使用にならないときは、電源を切ってください。
- 充電端子は時々乾いた綿棒などでクリーニングしてください。端子が汚れていると、正常に充電されないことがあります。

適合機器および適合電池

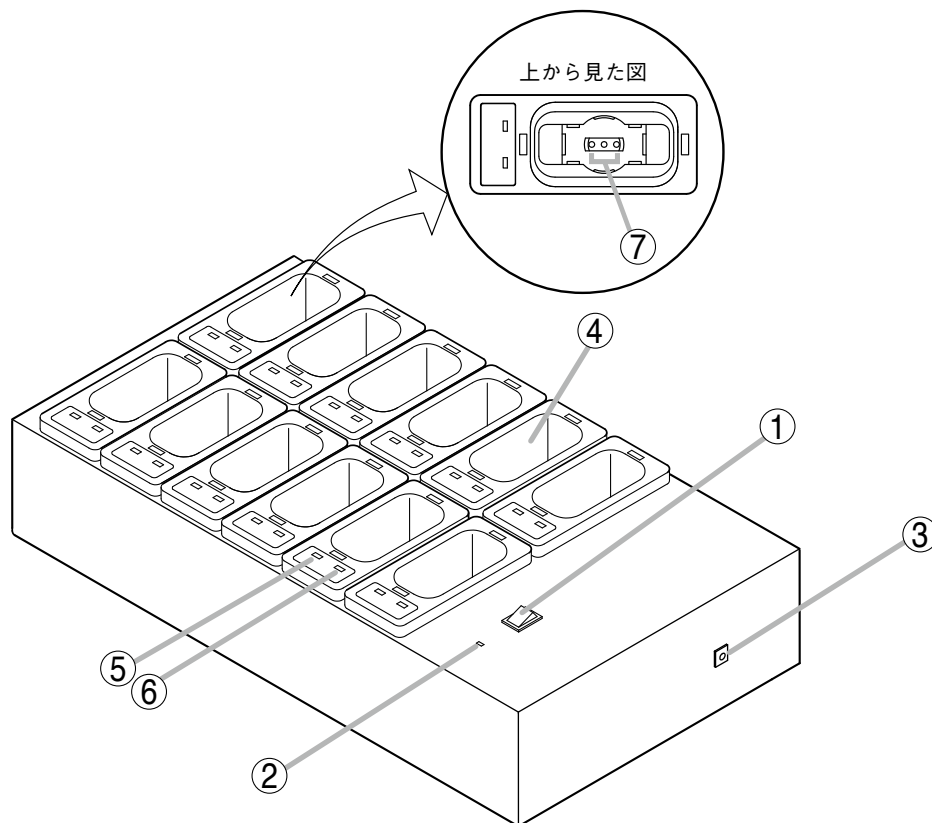
● 適合機器（本機で充電できる機種）

携帯機	WF-101
携帯型送信機	WM-1100、WM-1120
携帯型受信機	WT-1100、WT-1101-C11C13、WT-1101-C12C14

● 適合電池







WB-2000、WB-1000A

各部の名称とはたらき



- | | |
|---|---|
| <p>1. 電源スイッチ</p> <p>2. 電源表示灯
電源スイッチが「入」のとき、緑色に点灯します。</p> <p>3. 電源入力端子
付属の AC アダプターを接続します。</p> | <p>4. 機器差し込み口
携帯機やマイクを差し込みます。</p> <p>5. 充電中表示灯
充電中は赤色に点灯します。</p> <p>6. 充電完了表示灯
充電完了後は緑色に点灯します。</p> <p>7. 充電端子</p> |
|---|---|

[表示灯の状態]

充電中表示灯 (赤色)	充電完了表示灯 (緑色)	状態
 点灯	 消灯	充電中
 消灯	 点灯	充電完了
 点滅	 消灯	充電異常 (P. 10 「故障かな? と思ったら」)

充電のしかた



注意

満充電となった電池を繰り返し充電しない

過充電による電池の劣化、液もれを防ぐため以下のことをお守りください。

- 短時間の使用で頻繁に充電しないでください。
- 満充電となった電池を繰り返し充電しないでください。

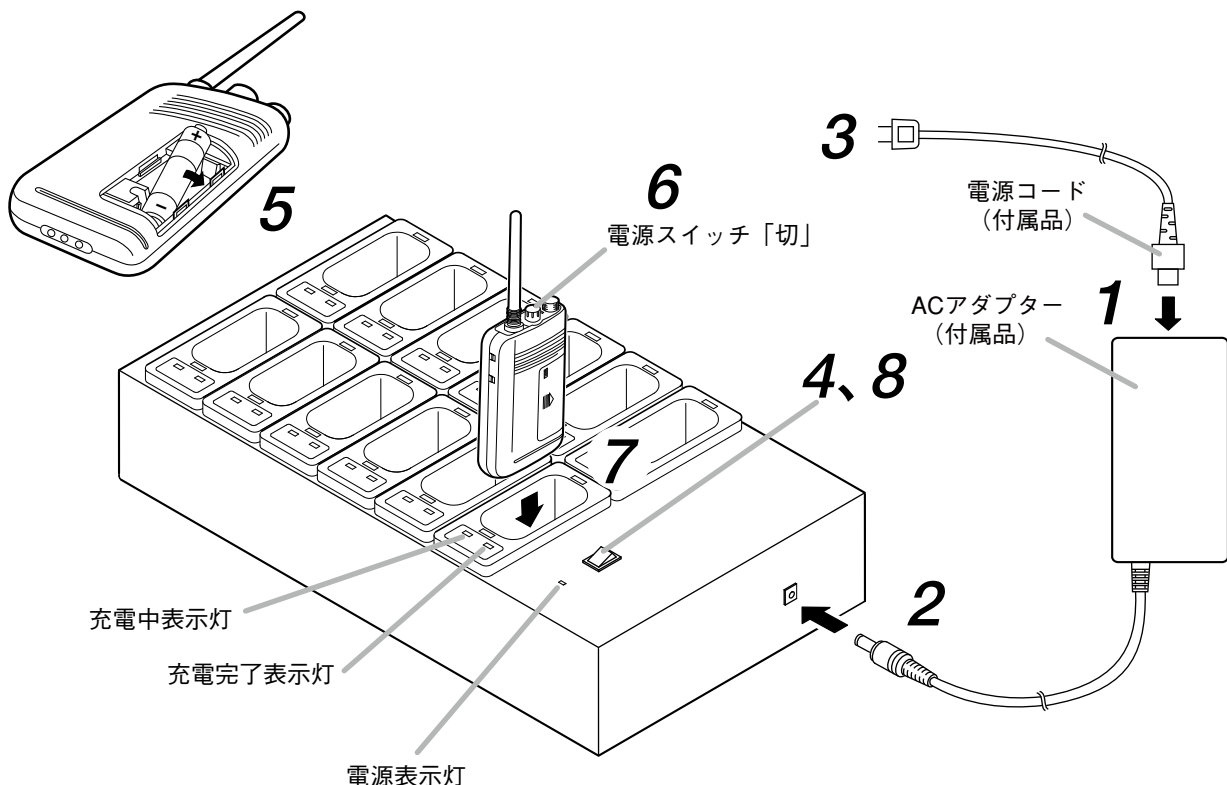
- 1 付属の電源コードを付属の AC アダプターに接続する。
- 2 付属の AC アダプターを本機の電源入力端子に接続する。
- 3 電源コードの AC プラグを電源 (AC100 V) コンセントに差し込む。
- 4 本機の電源スイッチを入れ、電源表示灯 (緑色) が点灯することを確認する。
- 5 本機で充電する機器に、付属の専用充電電池 WB-2000 を入れる。
専用充電電池の入れかたについては、各機器の取扱説明書を参照してください。
- 6 充電する機器の電源スイッチを「切」にする。
- 7 充電する機器を本機の機器差し込み口の奥まで挿入し、充電中表示灯 (赤色) が点灯することを確認する。
充電する機器は、前後どちらの向きに差し込んでも充電できます。
充電中表示灯 (赤色) が点灯しないときは、内部の電池を確かめてください。
充電が完了すると、充電完了表示灯 (緑色) が点灯します。
(充電開始時の電池残量により充電時間が短くなる場合があります。)

使用電池	満充電時間
WB-2000	約 2 時間
WB-1000A	約 1 時間

ご注意

満充電時間を超えても充電が完了しないときは充電をやめてください。

- 8 充電が完了したら、本機の電源スイッチを切り、電源表示灯 (緑色) が消えたことを確認する。



故障かな？と思ったら

症 状	点 検	処 置
電源スイッチを入れても電源表示灯（緑色）が点灯しない。	付属の AC アダプターが正しく接続されていますか？	付属の AC アダプターを正しく接続してください。
充電する機器を差し込み口に差し込んでも充電中表示灯（赤色）が点灯しない。	機器は差し込み口に正しく入っていますか？	機器を奥まで差し込んでください。
	機器に専用充電電池が入っていますか？	専用充電電池 WB-2000 または WB-1000A を入れてください。充電できる電池は専用充電電池のみです。乾電池や一般のニッケル水素電池は充電できません。
	充電端子が汚れていませんか？	機器側の充電端子と充電器の差し込み口の充電端子を乾いた綿棒などでクリーニングしてください。
充電した機器の電池持続時間が短い。	充電中に、機器の電源スイッチが「入」のままになっていませんか？	機器の電源スイッチを「切」にしてください。
	電池が劣化していませんか？	新しい専用充電電池と交換してください。
充電中表示灯（赤色）が点滅する。	本体の差し込み口の中に金属などの異物が入っていませんか？	異物を取り除いてください。

仕 様

電 源	DC12 V (付属の AC アダプターから供給)
消 費 電 力	48 W
定 格 出 力	2.5 V、1 A × 12
充 電 時 間	約 2 時間 (専用充電電池 WB-2000 使用時) 約 1 時間 (専用充電電池 WB-1000A 使用時)
充 電 台 数	12 台
使 用 温 度 範 囲	0 ~ 40℃
使 用 湿 度 範 囲	30 ~ 85% RH (ただし結露のないこと)
仕 上 げ	表面処理鋼板、黒 (マンセル N1.0 近似色)、塗装
寸 法	388.9 (幅) × 100 (高さ) × 231.8 (奥行) mm
質 量	3 kg

※ 本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

● 付属品

専用充電電池 WB-2000	12
AC アダプター (コード長: DC 側 1 m)	1
電源コード (2 m)	1

専用充電電池 WB-2000 について

満充電となった電池を繰り返し充電しない

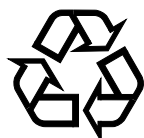
次のことを必ずお守りください。守らないと、過充電による電池の劣化、液もれにより、けがの原因となることがあります。



注意

- 電池は容量を使い切ってから充電してください。(1回の充電による電池持続時間は、お使いになる機器の取扱説明書を参照してください。)
- 電池残量表示機能のある機器については、バッテリーチェックランプが赤くなってから充電してください。
- 短時間の使用で頻繁に充電しないでください。
- 満充電となった電池を繰り返し充電しないでください。

■ ニッケル水素電池のリサイクルについて



Ni-MH

ニッケル水素電池のリサイクルにご協力ください

この充電電池は、ニッケル水素電池です。

ニッケル水素電池はリサイクルが可能な、貴重な資源です。

電池の交換および使用済み製品の廃棄に際しては、電池を取り出し、リサイクルへご協力ください。

使用済みの電池は、捨てないで、お買い上げ店または当社営業所へ返却してください。

■ 使用上のご注意

- お買い上げ後、初めての使用や長期間使用しなかった場合は、必ず充電してからご使用ください。
※ 充電後、長期間放置すると自然に放電しますので、使用できる時間が短くなる場合があります。
- 充電は必ず 0 ~ 40℃ の周囲温度の中で行ってください。
- 極端な高温や低温環境では、電池の容量が低下し、使用できる時間が短くなります。
- 過放電状態になると、充電しても使えなくなることがあります。
- 電池を使用しないときは、マイクから取り出し、-20 ~ +30℃ で湿気のない場所に保管してください。

■ 仕 様

電池の種類	単3形ニッケル水素電池(低自己放電タイプ)
公称電圧	DC1.2V
公称容量	2000mAh
定格容量	最小1900mAh
使用温度範囲	0 ~ 50℃(充電時は0 ~ 40℃)
使用湿度範囲	30 ~ 85%RH(ただし結露のないこと)
寸法	φ14.2 × 50.2(長さ)mm
質量	30g

※ 本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

TOA お客様相談センター	フリーダイヤル 0120-108-117	商品の価格・在庫・修理などのお問い合わせ、および
商品の内容や組み合わせ、設置方法などについての技術的なお問い合わせにお応えします。 受付時間 9：00～17：00（土日、祝日除く）	ナビダイヤル 0570-064-475（有料） FAX 0570-017-108（有料） ※ PHS、IP 電話からはつながりません。	カタログのご請求については、取り扱い店または最寄りの営業所へお申し付けください。最寄りの営業所については、TOA ホームページをご確認ください。
当社は、お客様から提供された個人情報をお問い合わせ対応または修理対応の目的に利用いたします。また、修理委託目的で委託先業者へ提供することがあります。個人情報の取り扱いに関する方針については、TOA ホームページをご覧ください。		

TOA ホームページ <http://www.toa.co.jp/>

TOA 株式会社

133-07-00044-02